

Tabata スイミングゴーグル

- レンズの光学的特性は、JIS S-7301の規格値、屈折力0±0.125m⁻¹、平行度1/6cm/m以下に品質管理されています。
- レンズは、紫外線UV（380nm以下）から目を保護します。

警告（守っていただかないと、ケガや事故につながる危険性のある事項）

必ずこの取扱説明書をよく読み、警告、注意及び取扱上の注意を完全に理解してからご使用下さい。

- 他人に当製品を貸し出す場合には、必ずこの取扱説明書を添付して下さい。
- 当製品は水泳専用のゴーグルです。水泳以外の目的では絶対に使用しないで下さい。
- 使用前には常に各部を点検して下さい。レンズに視界を妨げるようなキズや、ストラップやフェイスパッド部分に亀裂やキズがある場合には使用しないで下さい。
- レンズを絶対に顔から前方向に引っ張らないで下さい。跳ね返って目をケガする恐れがあります。
- スイミングゴーグルは衝撃によるケガ等から目を保護するための製品ではありません。水中に飛び込む時はもちろん、水泳中は常に周囲の安全を十分に確認して下さい。また、危険ですので、海岸や川岸、岩場等で飛び込むことは絶対におやめ下さい。

注意（守っていただかないと、間接的にケガや事故につながる可能性のある事項）

- 使用前には必ずストラップと鼻ベルトの長さを調整して下さい。調整が不十分な場合には水漏れが起こったり、目の周囲に圧迫感を強く感じたりすることがあります。
- 目が水圧の影響で痛くなりますので、ダイビングのように深く潜らないで下さい。
- 長時間使用中、ごくまれにフェイスパッドの密着によって肌に異常が生じることがあります。その場合はただちに使用を中止して下さい。万一、アレルギー症状が出た場合は専門医の診断を受けて下さい。
- 当製品のフェイスパッドは、はめ込み式を採用しています。フェイスパッドが外れた場合には水漏れが起こりますので、レンズの外周の溝にしっかりとめ込み直して下さい。また、使用前にはレンズ及びフェイスパッドに異常がないかどうかを必ず点検して下さい。
- お子様を使用する場合は、教員、指導員やその他、水泳のできる大人の方が、ゴーグルの使い方をよく説明して下さい。

取扱上の注意

- **水膜くもり止め加工は、水分がレンズ面にいきわたることでもり止め効果があらわれます。レンズ内側をよく水道水で濡らしてからご使用下さい。**

- レンズ内側にはくもり止め加工が施されていますので、使用中、水泳中は直接指で触れないようにして下さい。
- ストラップをきつく締めすぎると不快に感じたり目の周りに跡がつく場合があります。適度なフィット感が得られる範囲内で調節して下さい。
- ファンデーションやUVカットクリーム（サンスクリーン）、整髪剤等の中にはフェイスパッドやレンズに付着すると、落ちなくなるものがありますので十分ご注意ください。また、砂等が付着した場合はこすり取らず、必ずすすぎ洗いをして下さい。
- くもり止め液は、必ず当社製品を使用して下さい。市販のくもり止め液の中には、プラスチック素材を侵してひび割れ等を起こさせるものがありますのでご注意ください。
- ゴーグル各部には、無理な力を加えないで下さい。変形したり破損することがあります。

使用后、保管上の注意

- レンズの内側に水アカや手の脂分等の汚れが付着するとくもりの原因となります。使用後は必ず真水でよくすすぎ洗いを行い、水分を振り切って陰干しをして下さい。汚れが気になる場合は、市販の中性洗剤をメーカー指定の希釈率（洗剤の裏面の説明に表示）にうすめて入れた水で洗い、その後洗剤成分を完全に洗い落として下さい。強い洗剤をそのまま用いたり、つけ置き洗いをしたり、洗剤の成分が少しでも残っていると、洗剤の種類によってはプラスチック素材を侵してひび割れ等を起こさせるものがあります。
- 変形や変色の原因となりますので、シンナーやアルコール等の有機系溶剤を汚れ落としに使用しないで下さい。
- 水着、スイミングキャップ、タオルやその他の色物と長時間接触した状態で保管するとまれに相互の色が移行する場合があります。特に濡れた状態では起こりやすくなりますので、使用後はケースやビニール袋等に入れて持ち運びして下さい。
- 水に濡れたまま長時間放置しておくと、くもり止め効果が落ちたり、カビが発生したりするので必ず陰干しを十分にしてから保管して下さい。
- 夏場の直射日光下や、車のトランクの中、暖房器のそば、サウナ室等、極端に高温になる場所で乾燥させたり、放置したりすると、変形や性能劣化の原因となりますのでご注意ください。
- 持ち運びや保管の際には、必ずゴーグルをケースに入れて下さい。

ミラーゴーグル取り扱い上の注意（ミラーレンズタイプをご使用の場合）

ミラーコーティングは傷つきやすく、はがれる可能性がありますので、長持ちさせるためにも特に以下の点にご注意下さい。

- プールの水や、水道水、海水、温水等に長時間浸けたままにしないで下さい。また、使用後は、傷がつかないように注意しながら、柔らかい布でレンズ面の水分を押し取るように吸い取って下さい。
- 湿気の多い場所や、高温になる場所に放置しないで下さい。
- ミラー面が他のものに接触すると傷が付きやすいため、持ち運びの際には必ずケースに入れるようにして下さい。（なお、使用状況による差はありますが、使用することによってミラー面に多少の傷やはがれが起こる場合がありますのでご了承下さい。）

お客様へ

製品には万全を期しておりますが、万一お買上の製品に不備がございましたら、お手数ですがこの取扱説明書をご持参の上、販売店までお持ち下さい。代品とお取り替えさせて頂きます。尚、次の場合の補償、代償につきましては応じかねますのでご容赦下さい。

- 車載、誤用、乱用、酷使、不適切な修理または改造による破損や故障。
- 取扱上の不注意による破損や損傷。
- 使用中に生じた外觀上の変化（ケース、レンズ、ストラップの傷など）。
- お買上げ後の運搬、移動、保管上の不備などによる破損や損傷。

■お問い合わせ先 株式会社タバタ 〒130-0005 東京都墨田区東駒形1-3-17

お客様相談室 TEL. 0120-989-023

受付時間：月曜日～金曜日 9:30～12:00, 13:00～17:00

製品に関するお知らせ・情報はVIEWホームページをご覧ください。http://tabata.jp/view/

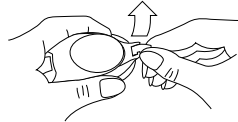
正しいゴーグルの着脱法



- ① ストラップを両手で広げ、後頭部から確実にかぶせてください。この時、レンズは額に乗った状態になります。続いて左右のレンズを両手で持ちながら、やさしく目にかぶせるように装着して下さい。
- ② ゴーグルを取る際は、レンズを両手で持ち上げ、ゆっくりと外して下さい。

鼻ベルトの調整

※鼻ベルトはフックから外せる機種と、外せない機種があります。外せない機種はそのまま②のように調整して下さい。

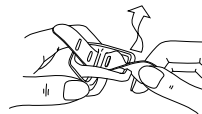


- ① レンズをしっかりと持って、鼻ベルトをねじりまづ片方をフックから外します。
- ② ゴーグルをうら返しにして、鼻ベルトが外れていない方のレンズを動かしてちょうどいい長さにベルトの溝をずらします。
- ③ 外したときとは逆に、鼻ベルトをねじりながらフックにはめこんで下さい。
- ④ 足りないときには、同じようにもう片方の鼻ベルトの長さを合わせます。

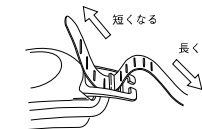
各部の名称およびストラップ調整

※製品の形状がイラストと多少異なる機種があります。

<ストラップの調整>



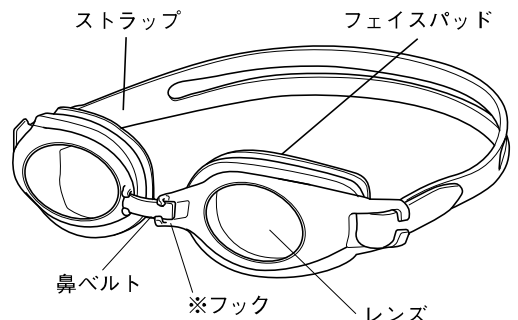
- ① レンズを持ち、重なっているストラップの1枚を爪をたてないようにねじって引っ張り、図のようにフックから外します。同様に奥のストラップも外します。



- ② ストラップを一旦ゆるめ、図のように長さを調整したら、①と逆の手順でストラップをねじり入れてセットします。

※ストラップが抜けるので、長さを調整する際は無理に引っ張らないで下さい。

<各部の名称>



※フックが無い機種もあります。

<品質表示> レンズ：ポリカーボネート
鼻ベルト：エラストマー樹脂
フェイスパッド、ストラップ：シリコーン